

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

(対象期間; 2023年4月～2024年3月)

2024年(令和6年)6月28日発行

入江商工株式会社



－ 目 次 －

	ページ
1. 組織の概要	2
2. 対象範囲(認証・登録範囲)	3
3. 環境経営方針	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画の取組内容とその評価	6
6. 環境経営目標の実績と達成評価並びに取組結果の評価	7
7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	8
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1. 会社の概要

1) 会社及び代表者氏名

入江商工株式会社

代表取締役 入江 修

2) 所在地

(1) 本社: 東京都台東区台東1丁目25番地12号

(2) 埼玉倉庫: 埼玉県久喜市菖蒲町三箇2299-2

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 入江 修

担当者 同 上

連絡先 電話 03-5812-3191

FAX 03-5812-3190

e-mail irie-shoko@star.ocn.ne.jp

4) 事業活動の内容

アルミ製品、ピストン、オイル清浄装置の製造・販売及びコンパウンドの販売

5) 事業の規模

資本金 30百万円

売上高 48百万円(2023年度)

従業員数 1名

* ご参考(弊社製品)

オイルクリーナー SD-30

オイルクリーナーは、オイル中のスラッジ・金属粉末・水分を交換式のエレメントで除去をすることにより、オイル交換の時期を延ばすことで、環境への配慮と経費節減が見込まれます。



アルキャンコンパウンド

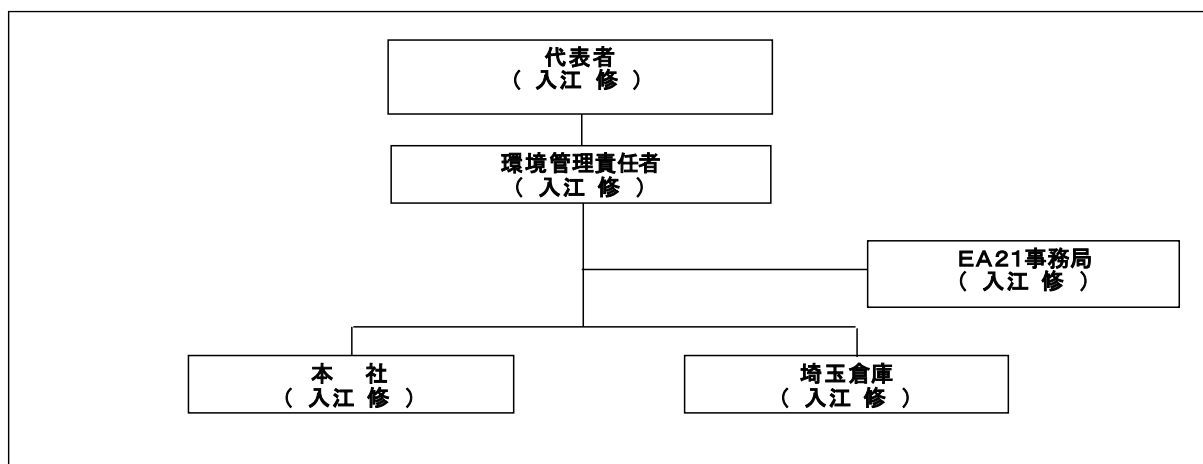
アルキャンコンパウンドは、金属間の接続部分の電気抵抗を低減させるとともに、接続表面の酸化を防止することで、省エネルギー・省資源による環境への配慮と経費節減が見込まれます。



2. 対象範囲(認証・登録範囲)

1)対象範囲:本社並びに埼玉倉庫の全組織・全活動

2)実施体制



3)役割・責任及び権限

役職	責任および権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化 (要求事項1) 2. 経営における課題とチャンスの明確化 (要求事項2) 3. 環境経営方針作成、全従業員に周知(要求事項3) 4. 実施体制の構築(要求事項7) 5. 代表者による全体の評価と見直し・指示(要求事項14) 6. 環境経営レポートの承認 7. その他
環境管理責任者 (EA21事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価(要求事項4:事務局担当) 2. 環境関連法規の取りまとめ(要求事項5:事務局担当) 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定(要求事項6) 4. 環境コミュニケーションの実施(要求事項9) 5. 取組状況の確認及び問題の是正及び予防(要求事項13) 6. 環境関連文書及び記録の作成・管理(要求事項12:事務局担当) 7. 環境経営レポートの作成・公表(事務局担当)、確認(環責) 8. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施(要求事項8) 2. 実施及び運営(要求事項10) 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応(要求事項11) 4. その他

3. 環境経営方針

入江商工株式会社はオイルクリーナー及びジョイタル販売において、全社員が環境に配慮した事業活動に取り組むことにより、環境負荷の継続的改善並びに環境関連法規の遵守等を推進し、企業の社会的責任を果たします。

【 環境経営行動指針 】

1) 二酸化炭素排出量の削減

- (1) 機械設備、照明設備、空調設備等の効率的な運用により、使用エネルギーの削減に取り組めます。
- (2) 極力公共交通機関を使用すると共に、社有車使用の際には、エコドライブによって排ガスの抑制に努めます。

2) 廃棄物排出量の削減

- (1) プリント紙の削減及び裏面の有効活用。
- (2) コピー紙の削減。

3) 水使用量の削減

- (1) 生活排水の節水に努めます。
- (2) 水道配管からの漏洩を定期的に点検します。

4) グリーン購入の推進

エコマーク製品や循環製品等の環境配慮の製品・サービスの購入に努めます。

5) 環境配慮製品・サービスの提供

- (1) 環境配慮の開発・設計に努め、顧客や発注者に対して積極的な環境保全の提案をします。
- (2) 不良品の削減、歩留まり向上及び平準化生産の促進等の環境配慮の生産に努めます。
- (3) 環境保全型商品等の販売及び消費者に対する情報提供等に努めます。

6) 環境経営の継続的改善を推進します。

2010年 9月 1日制定

2010年11月 1日改訂

2012年12月 1日改訂

2013年12月 1日改訂

2022年12月 6日改訂

入江商工株式会社

代表取締役 入江 修

4. 環境経営目標

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー株式会社の 2017 年度調整後排出係数 (0.462kg-CO₂/kWh) を使用した。

環境経営目標	基準(実績)	年度目標	中期目標		
	2017年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1. CO ₂ 削減	1914.6 kg-CO ₂	3.0 %削減 1857.16 kg-CO ₂	4.0 %削減 1838.02 kg-CO ₂	4.5 %削減 1828.44 kg-CO ₂	5.0 %削減 1818.87 kg-CO ₂
エネルギー別削減量		削減目標			
		3.0 %削減	4.0 %削減	4.5 %削減	5.0 %削減
①電力使用量削減	1110.2 kg-CO ₂	1076.89 kg-CO ₂	1065.79 kg-CO ₂	1060.24 kg-CO ₂	1054.69 kg-CO ₂
②車燃料使用量削減	0 kg-CO ₂	0.00 kg-CO ₂	0.00 kg-CO ₂	0.00 kg-CO ₂	0.00 kg-CO ₂
③暖房燃料使用量削減 (都市ガス)	804.4 kg-CO ₂	780.27 kg-CO ₂	772.22 kg-CO ₂	768.20 kg-CO ₂	764.18 kg-CO ₂
2. 廃棄物排出量削減	32 kg	削減目標			
		3.0 %削減	3.5 %削減	4.0 %削減	4.5 %削減
		31.04 kg	30.88 kg	30.72 kg	30.56 kg
3. 水使用量の削減	149 m ³ (2020年度実績に見直し)	削減目標			
		3.0 %削減	3.1 %削減	3.2 %削減	3.3 %削減
		144.53 m ³	144.38 m ³	144.23 m ³	144.08 m ³
4. グリーン購入	事務用品を購入するにあたり、環境に配慮した製品を検討する。	環境に配慮した製品の購入比率を上げるようにする。	環境に配慮した製品の購入比率を上げるようにする。	環境に配慮した製品の購入比率を上げるようにする。	環境に配慮した製品の購入比率を上げるようにする。
5. 環境配慮製品売上増	413 万円 (2020年度実績に見直し)	売上目標			
		5.0 %増加	5.2 %増加	5.5 %増加	6.0 %増加
		433.65 万円	434.48 万円	435.72 万円	437.78 万円

5. 環境経営計画の取組内容とその評価

2023年度

環境経営目標項目		取組内容	取組内容のスケジュール: 2023年度(2023年4月～2024年3月)	取組内容の評価
二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①温度管理の徹底	①控えめな温度設定を継続する。	○
		②照明管理の徹底	②採光を利用した電気使用量の抑制を継続する。	○
	目標値: 1076.89kg-CO ₂	③倉庫の適正稼働	③倉庫の適正な稼働を実施する。	○
	2) 化石燃料消費量の削減	①事務所暖房管理の徹底	①健康を害さない程度に暖房使用をできる限り抑える。	○
	目標値: 780.27kg-CO ₂	②公共交通機関の積極的利用	②徒歩や自転車、公共交通機関の利用により社用車の使用を控える。	○
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	①コピー用紙の裏紙使用	①コピー用紙や不要印刷物の裏紙使用を継続する。	○
		②分別の徹底	②廃棄物の分別を徹底を継続する。	○
	目標値: 31.04kg	③不要FAXの排除	③不要FAXの受信拒否を継続する。	○
水使用量の削減		①漏水管理の徹底	①水の止め忘れが無いよう確認を行う。	○
		②水使用量の削減	②小さな節水の継続を行う。	○
	目標値: 144.53m ³			
グリーン購入の推進		①環境配慮資材の購入	①環境に配慮した製品を優先的に購入する。	○
		②エコマーク製品の購入	②エコマーク製品を優先的に購入する。	○
		③事務用品のグリーン購入	③グリーンマーク製品を優先的に購入する。	○
環境配慮製品・技術・サービスの提供		①環境配慮販売の促進	①環境に配慮した弊社製品の販促を継続して行う。	△
		②企業規模に応じた販促	②大手企業に参入されると弊社が排除されることは明確なので、大規模な宣伝ではなく草の根的な活動で、拡販を目指していく。	○
		③可能な販促の実施	③他社批判とならぬよう注意しつつ、弊社製品の優位性を訴えていく。	○

6. 環境経営目標の実績と達成評価並びに取組結果の評価

2023年度

環境経営項目	取組結果とその評価(23年4月～24年 3月)			
	環境目標	実績	達成 評価	取組結果の評価
1. CO ₂ 削減	1857.2 kg-CO ₂	1527.2 kg-CO ₂	○	電力や都市ガスなどの使用を抑制することで二酸化炭素の発生を抑え、目標を達成することができた。
①電力使用量削減 ・機械設備の省エネ ・休憩時の消灯 ・エアコンの温度管理	1076.9 kg-CO ₂	817.7 kg-CO ₂	○	照明やPC関連機器の使用を抑えることで、目標を達成することができた。
②車燃料使用量削減 ・エコドライブの徹底 ・公共交通機関の利用	0.0 kg-CO ₂	0.0 kg-CO ₂	○	公共の交通機関の利用と自転車や徒歩での移動により目標を達成することができた。
③暖房燃料使用量削減 ・ウォームビズ [®] の実施 (都市ガス)	780.3 kg-CO ₂	709.4 kg-CO ₂	○	気温に助けられるところもあったが、目標を達成することができた。
2. 廃棄物排出量削減 ・コピー紙の削減 ・プリント紙の削減	31.04 kg	23.62 kg	○	裏紙使用や迷惑FAXを通信中に拒否をすることで目標を達成できた。
3. 節水 ・効率化による節水 ・水漏れ確認	144.53 m ³	136 m ³	○	節水を心掛けることで、目標値を達成することができた。
4. グリーン購入拡大 ・環境配慮事務用品 ・梱包用品 ・環境配慮電気・電子製品	環境に配慮した製品の購入比率を上げるようにする。	事務用品購入の際には、グリーン対象・森林認証商品の購入をした。	○	事務用品購入の場合はグリーン対象・森林認証商品を優先して購入した。
5. 環境配慮製品売上増 ・オイルクリーナー売上増 ・ジョイント製品の売上増	433.65 万円	425 万円	×	基準年度は越えているものの、若干ではあるが目標を達成することができなかった。来年度以降目標値の変更も検討する必要がある。

○: 目標達成、×: 目標未達

* 2017年度の東京電力株式会社二酸化炭素基礎排出係数(0.462kg-CO₂/kwh)

7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標項目		取組内容	取組内容のスケジュール:2024年度(2024年4月～2025年3月)	取組内容の評価
二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①温度管理の徹底	①ウオームビズの励行により控えめな温度設定を継続する。	
		②照明管理の徹底	②こまめな照明のオフ/オンにより電気使用量の抑制を継続する。	
	目標値:1071.34kg-CO ₂	③倉庫の適正稼働	③倉庫の適正な稼働を実施する。	
	2) 化石燃料消費量の削減	①事務所暖房管理の徹底	①健康を害さない程度に暖房使用をできる限り抑える。	
	目標値:776.25kg-CO ₂	②公共交通機関の積極的利用	②徒歩や自転車、公共交通機関の利用により社用車の使用を控える。	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	①コピー用紙の裏紙使用	①コピー用紙や不要印刷物の裏紙使用を継続する。	
		②分別の徹底	②廃棄物の分別を徹底を継続する。	
	目標値:31.01kg	③不要FAXの排除	③不要FAXの受信拒否を継続する。	
水使用量の削減		①漏水管理の徹底	①水の止め忘れが無いよう確認を行う。	
		②水使用量の削減	②小さな節水の継続を行う。	
	目標値:144.38㎡			
グリーン購入の推進		①環境配慮資材の購入	①環境に配慮した製品を優先的に購入する。	
		②エコマーク製品の購入	②エコマーク製品を優先的に購入する。	
		③事務用品のグリーン購入	③グリーンマーク製品を優先的に購入する。	
環境配慮製品・技術・サービスの提供		①環境配慮販売の促進	①環境に配慮した弊社製品の販促を継続して行う。	
		②企業規模に応じた販促	②大手企業に参入されぬよう企業間ネットワークを活かした拡販を目指す	
		③可能な販促の実施	していく。	
			③他社批判とならぬよう注意しつつ、弊社製品の優位性を訴えていく。	

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に關係する環境関連法規等は下記の通りですが、遵守状況を令和6年5月に確認した結果違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟も創業以来ありません。

該当環境関連法規等	該当設備、物質等	遵守状況
廃掃法	産業廃棄物	遵守した
(東京都)廃棄物の処理及び再利用に関する条例	資源および廃棄物、原材料等	遵守した
循環型社会形成推進基本法 各種リサイクル法	資源および廃棄物の発生抑制、家電・自動車等	遵守した
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	環境物品に代替できる 事務用品等	遵守した

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し対象期間	2023 年 4 月 1 日				～	2024 年 3 月 31 日			
見直し実施日	2024 年 5 月 28 日								
見直しのための資料	環境目標の達成状況 環境活動計画の実施および運用結果 環境関連法規等の遵守状況 外部からの環境に関する苦情及び要望等								
全体評価	本年度も全般的に目標数値を達成することができた。 電力使用量やガス使用量を低い値に設定し、社用車の使用を行わなかったことがCO ₂ 削減に寄与している。 節水やグリーン購入の拡大についても、満足した結果を得られておりこれからも継続をしていきたい。 昨年ならびに今年度の状況を踏まえ、次年度以降の目標数値を少しづつではあるが高めていこうと考えている。 弊社にて取り扱うアルミ製品の販売量の増加により売上高全体は増加したが、環境配慮製品の販売は微減に転じてしまった。円高や各種製品・サービスの値上げにより環境配慮製品の値上げが避けられない状況となっており、来年度以降の更なる売上の低迷も予想される。エンドユーザーのコストカットの対象となりやすい製品でもあるが、環境面での利点を説くことで販売量の増加を目指していきたい。								
見直しの結果	項 目		変更の有無		変更する場合の内容				
	環境方針		有 (無)						
	環境目標		有 (無)						
	環境活動計画		有 (無)						
	実施体制		有 (無)						
	環境経営システム全般		有 (無)						
全体総括	SDGsに関しても、 ・12(つくる責任・つかう責任)に基づき、廃棄物の削減や再利用の促進を行う。 ・13(気候変動に具体的な対策を)に基づき、Co2削減を継続して行う。 といった項目で寄与できるのではないかと考えている。 別件ではあるが、東欧での戦況に加えハマスの軍事侵攻が経済活動に悪影響を与えることを危惧している。 不安定な世界情勢と様々な原材料費用の値上げにより、売上目標を達成することはより困難になるかと思われるが、エネルギー消費に対する目標の達成については、今後とも積極的に努めていきたいと考えている。								